

調査の概要

1. 調査の目的

区政等に対する区民の認知度や取り組みへの評価、ニーズ等を把握し、区政運営に反映させ、区政運営方針及び区将来ビジョンに活用することを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市守山区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の18歳以上の男女（外国人を含む） 2,000人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

令和5年 5月26日～ 6月16日

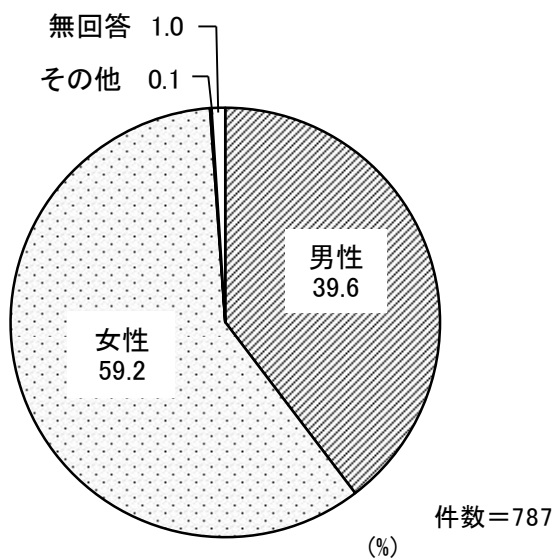
7. 回収数

787人（39.4%）

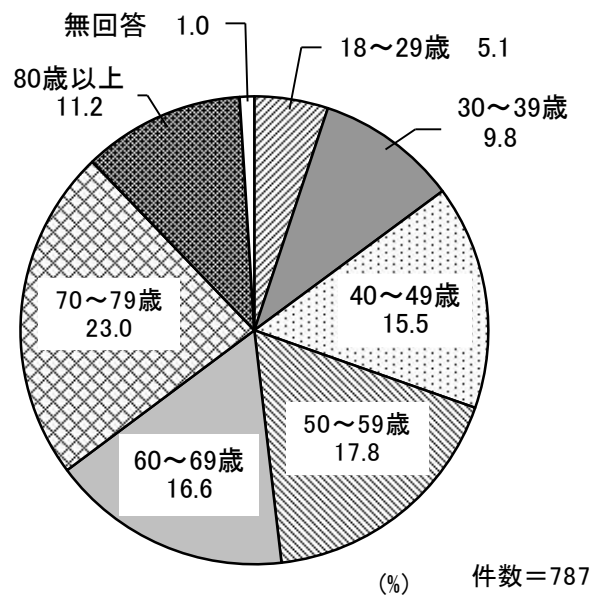
調査の結果

1. 対象者の属性

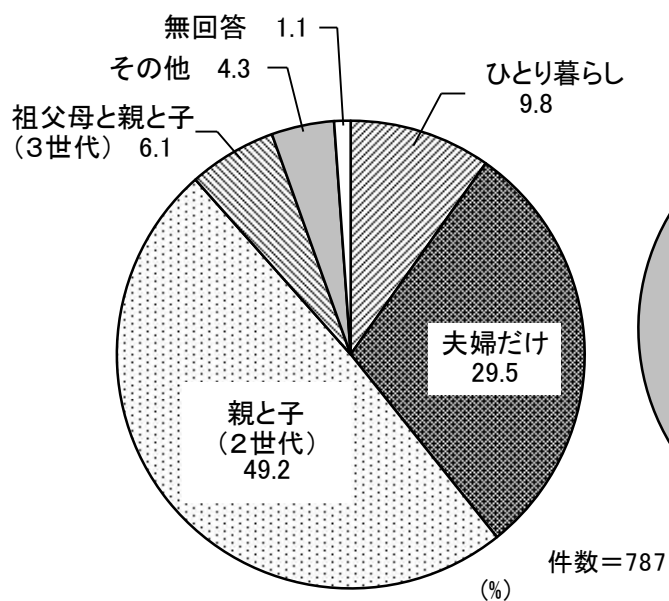
■性別



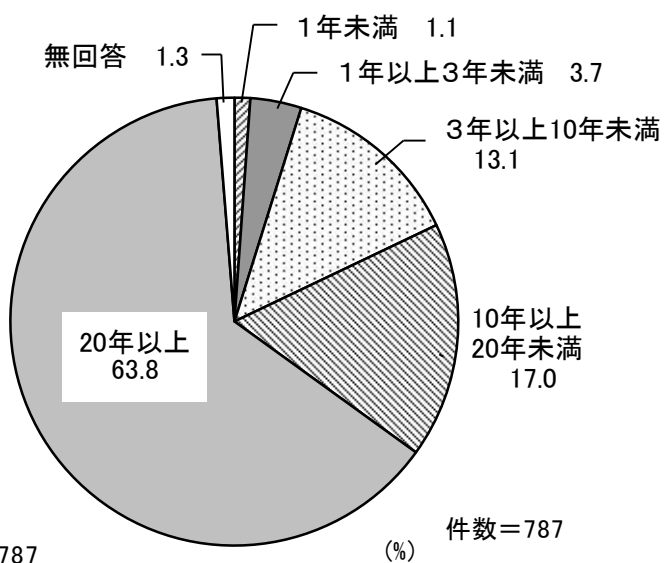
■年齢



■家族構成



■区内居住年数



■居住学区

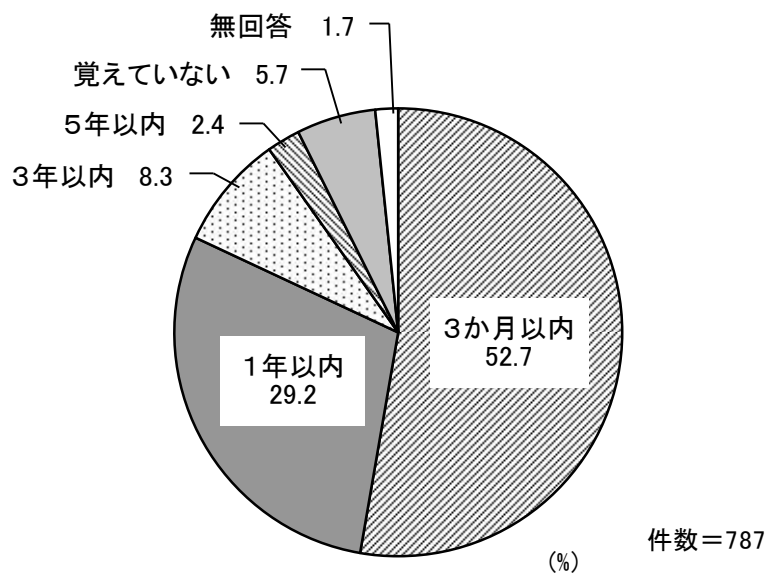
区役所計	大森	大森北	天子田	森孝西	本地丘	森孝東	小幡	小幡北	苗代	守山	西城	二城	白沢	甘軒家	鳥羽見	瀬古
626	45	34	27	23	22	23	66	23	39	60	19	47	55	56	35	52

(件)

志段味支所計	志段味東	志段味西	吉根	下志段味	上志段味
148	32	33	41	23	19

わからない	無回答
3	10

■直近来庁時期



2. 守山区将来ビジョン・守山区区政運営方針

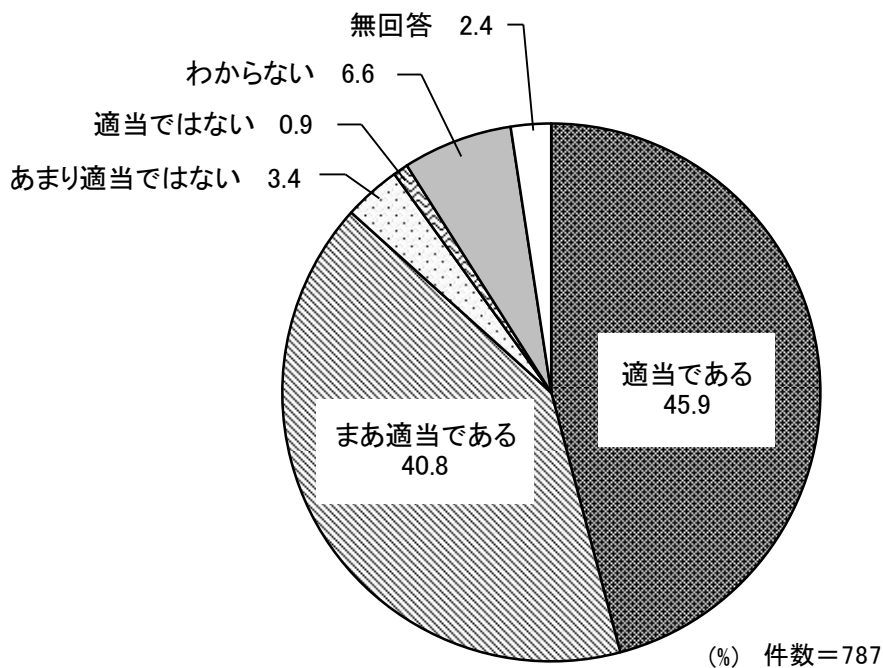
2-1 区政運営方針に掲げる施策について

守山区は、区政運営方針に掲げる以下の5つの施策のもと、各事業に取り組んでまいりました。

- 施策 I 安心・安全で快適なまちづくり
- II 子どもが健全に育つまちづくり
- III 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり
- IV 区の特徴・魅力を活かしたまちづくり
- V 親しまれ信頼される区役所づくり

問1. あなたは、この5つの施策を掲げていることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

○ 守山区区政運営方針に上記5つの施策を掲げていることについては、「適当である」が45.9%と半数近くを占め、「まあ適当である」は40.8%で合わせて86.7%と9割程が肯定的に捉えており、「あまり適当ではない」、「適当ではない」は1~3%と僅かであり、区民の評価は高くなっている。



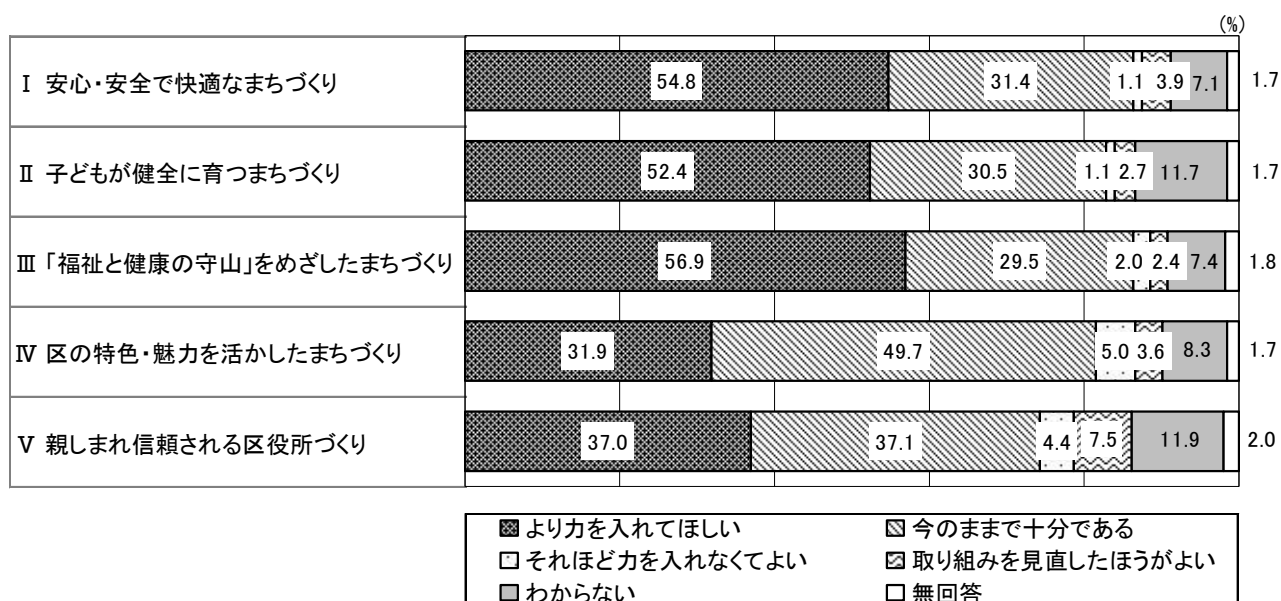
2-2 施策ごとの主な取り組みと実績について

以下に紹介されている施策ごとの主な取り組みをご覧いただき、今後どのような取り組みに力を入れていくべきか、あなたのお考えをお聞かせください。

注：以下の問2から問6に記載されている実績は令和4年度の実績です。

コロナウイルス感染症防止対策により、中止や変更の対応をしたものがあります。

○ 5つの施策については、「より力を入れてほしい」の割合は、「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり（56.9%）と「安心・安全で快適なまちづくり」（54.8%）、「子どもが健全に育つまちづくり」（52.4%）の3つについては過半数を占め、高い結果となった。「区の特徴・魅力を活かしたまちづくり」については「今のままで十分である」という意見が49.7%と最も多く、「親しまれ信頼される区役所づくり」については、前記の2つはほぼ同じ割合となっている。



(1) 施策Ⅰ【安心・安全で快適なまちづくり】について

○ 安心・安全で快適なまちづくりについては、「より力を入れてほしい」が 54.8%と過半数を占め、「今のままで十分である」は 31.4%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は 1~4%と少なく、区民のニーズは高くなっている。

問2. 施策Ⅰ【安心・安全で快適なまちづくり】についておたずねします。

[主な取り組みと実績]

☐ 防災活動の推進

(中学校における防災訓練・講演会の実施、指定避難所運営リーダー研修の実施など)

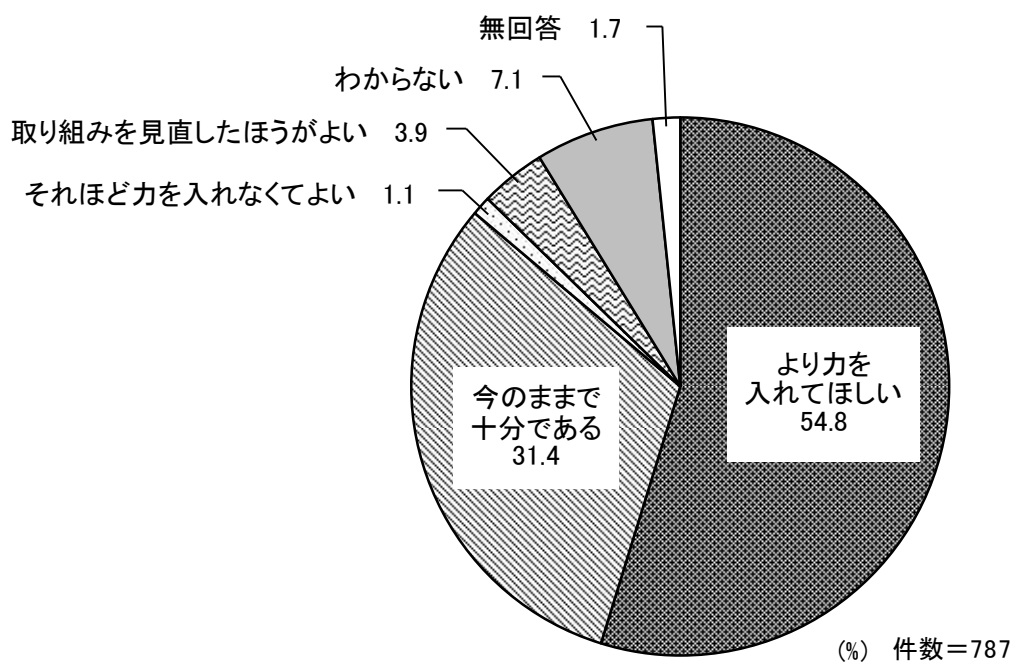
☐ 防犯活動の推進 (各種啓発活動を実施)

☐ 交通安全活動の推進 (各種啓発活動を実施)

☐ 清潔で住みよい環境づくりの推進

(全市一斉クリーンキャンペーン等啓発活動の推進、犬・猫による迷惑防止対策の実施など)

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。(○は1つだけ)



(2) 施策Ⅱ【子どもが健全に育つまちづくり】について

○ 子どもが健全に育つまちづくりについては、「より力を入れてほしい」が 52.4%と過半数を占め、「今のままで十分である」は 30.5%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は 1~3%と僅かであり、区民のニーズは高くなっている。

問3. 施策Ⅱ【子どもが健全に育つまちづくり】についておたずねします。

〔主な取り組みと実績〕

□ 地域で連携した子育て支援の推進（子育て支援ネットワーク事業の実施など）

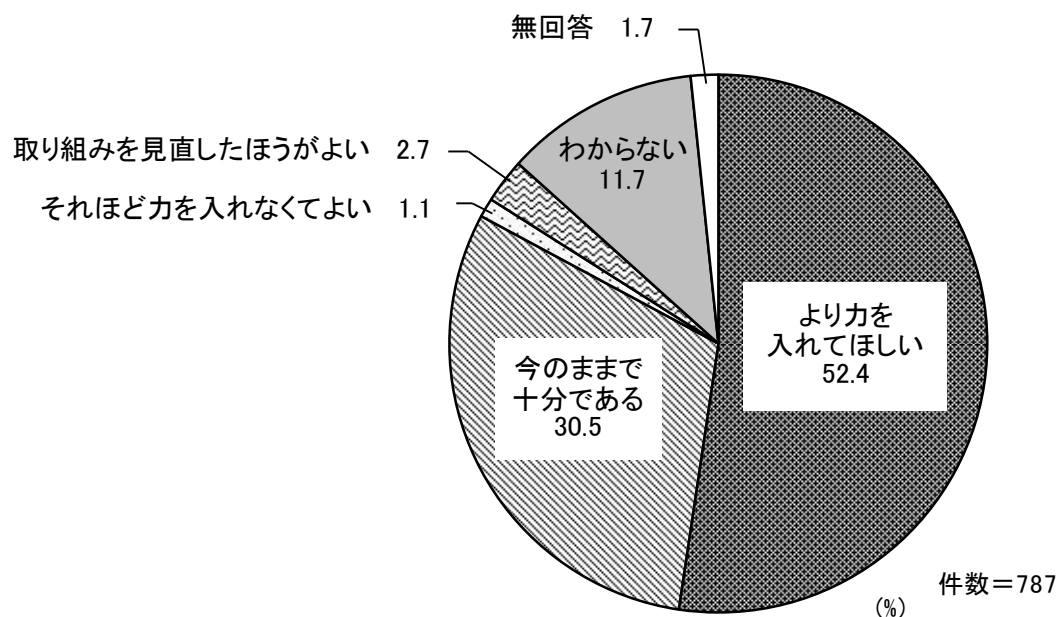
□ 妊娠期からの切れ目のない支援

（子育て総合相談窓口における支援〔相談件数 電話：1,784 件 来所：5,453 件〕など）

□ 親子が集う場や子育て講座・教室の提供

（思春期セミナーの開催〔小・中学校：20 校〕、子育てマップの発行、子育て情報サイトの運営、初めての離乳食教室の実施〔満足度：「とても満足」「満足」合わせて 100%〕など）

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。（○は 1 つだけ）



(3) 施策Ⅲ【「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり】について

○ 「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくりについては、「より力を入れてほしい」が 56.9%と 5つの施策のうち最も高く、「今のままで十分である」は 29.5%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」はともに 2%程と僅かであり、区民のニーズはかなり高くなっている。

問4. 施策Ⅲ【「福祉と健康の守山」をめざしたまちづくり】についておたずねします。

[主な取り組みと実績]

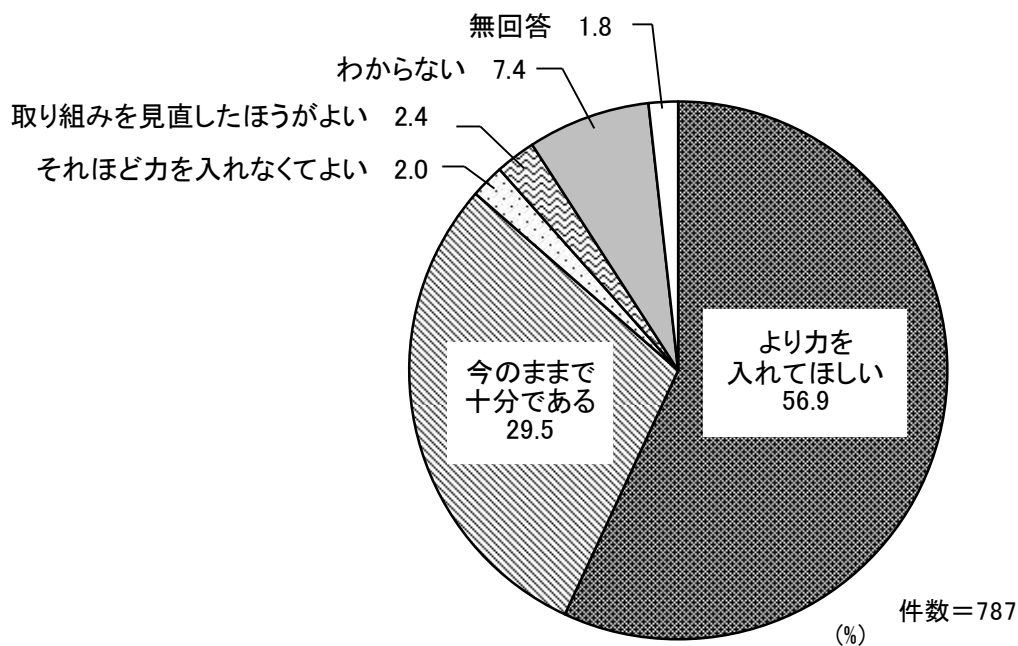
□ 高齢者が自分らしい暮らしを続けるための支援

(地域包括ケアシステムの構築、アクティブシニアチャレンジポイント事業の実施〔応募条件達成者数：523人〕、地域支えあい事業実施学区への支援〔活動学区：5学区〕など)

□ 援助が必要な方へのサポート体制の充実(障害者の自立支援と社会参加の促進など)

□ がんの早期発見と健康づくりの推進(乳がん自己触診法教室の開催など)

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。(○は1つだけ)



(4) 施策Ⅳ【区の特徴・魅力を活かしたまちづくり】について

○ 区の特徴・魅力を活かしたまちづくりについては、「今のままで十分である」が49.7%と半数を占め、「より力を入れてほしい」は31.9%であり、「それほど力を入れなくてよい」、「取り組みを見直したほうがよい」は4~5%と少なくなっている。

問5. 施策Ⅳ【区の特徴・魅力を活かしたまちづくり】についておたずねします。

〔主な取り組みと実績〕

□ 区民相互のふれあいと交流の場を創出

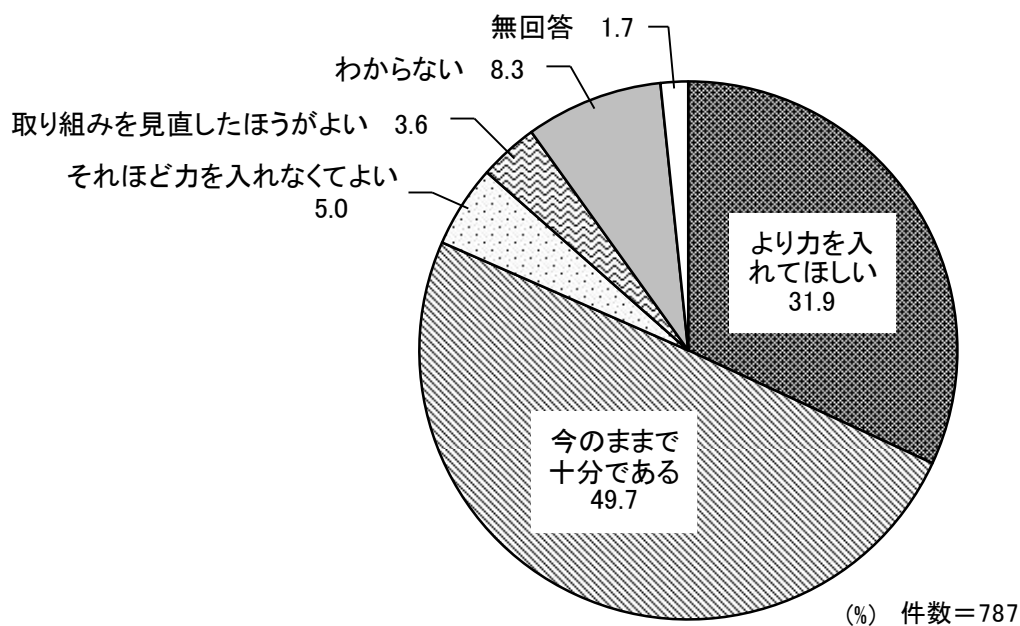
(「元気まつり守山」の開催、「守山・しだみ レモンプロジェクトの実施〔「区制60周年記念 守山・しだみ レモンフェア」の開催、スタンプラリーの実施など〕)

□ 豊かな水と緑の保全や広報(「守山自然ふれあいスクール事業」の開催など)

□ 歴史や伝統を伝える人材の育成(「守山探検隊によるお宝発見事業」の実施など)

□ 文化・芸術・スポーツ・社会教育活動の支援(各種展示会の実施)

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。(○は1つだけ)



(5) 施策Ⅴ【親しまれ信頼される区役所づくり】について

○ 親しまれ信頼される区役所づくりについては、「今のままで十分である」(37.1%)と「より力を入れてほしい」(37.0%)は、ともに37%と高く、「それほど力を入れなくてよい」は4.4%と少ない。一方、「取り組みを見直したほうがよい」(7.5%)と「わからない」(11.9%)の割合は、ともに5項目のうち一番多くみられた。

問6. 施策Ⅴ【親しまれ信頼される区役所づくり】についておたずねします。

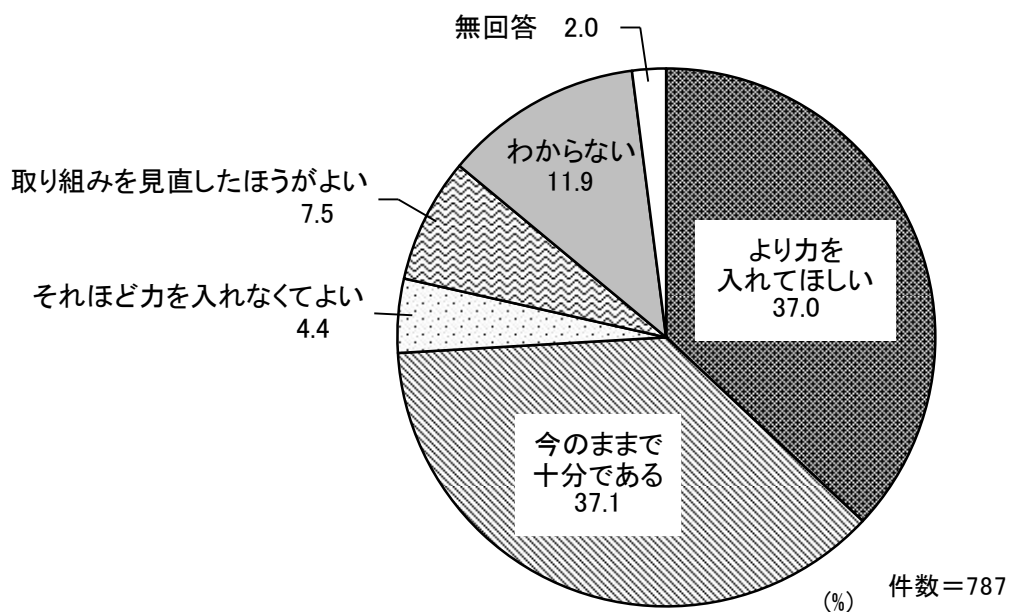
[主な取り組みと実績]

□ 区民ニーズの把握と区政への反映

(区民会議の開催〔開催：2回〕、区民アンケートの実施〔回収率：39.8%〕)

□ 信頼される区役所づくり (職場単位での研修の実施)

あなたは、上記のような取り組みと実績についてどう思いますか。(○は1つだけ)

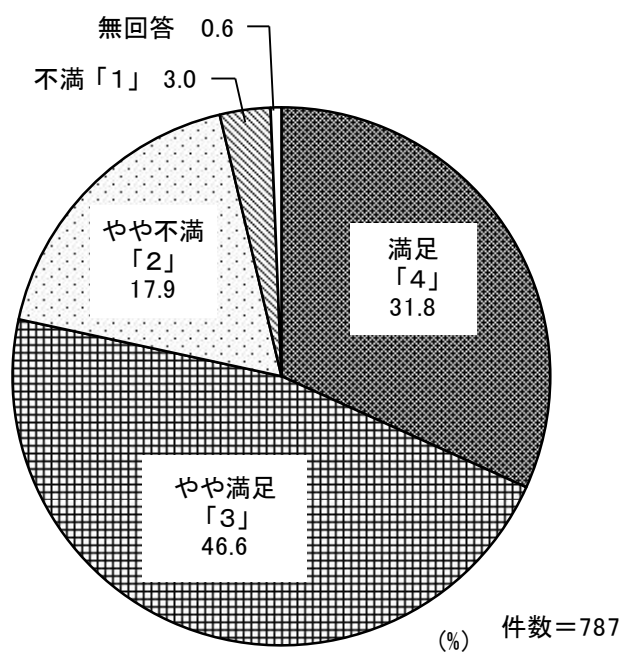


3. 印象、認知度について

3-1 住み心地について

○ 守山区での暮らし、住み心地については、「満足 4」が31.8%で、「やや満足 3」(46.6%)を合わせて78.4%と8割の区民が肯定的に回答をしている。一方、「不満 1」(3.0%)、「やや不満 2」(17.9%)を合わせた20.9%が、否定的な回答をしている。

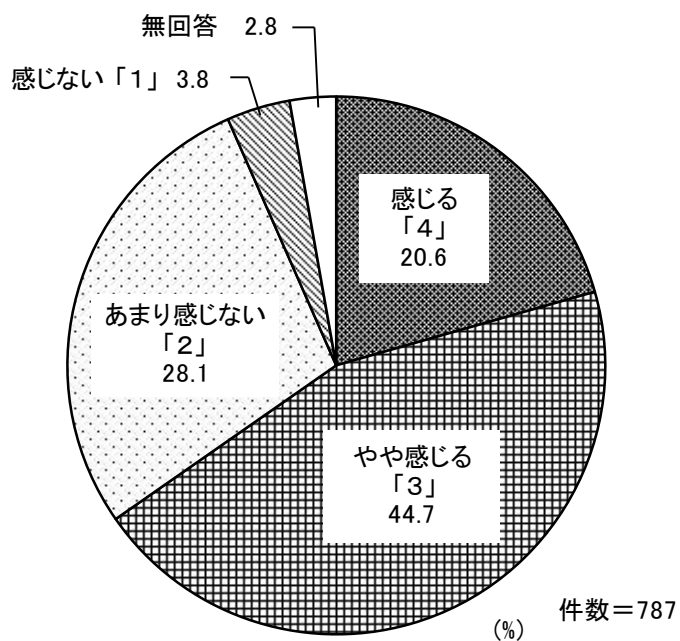
問7. あなたは、守山区での暮らし、住み心地についてどう思いますか。(○は1つだけ)



3-2 子育てしやすいまちについて

○ 守山区は子育てしやすいまちだと感じているかについては、「感じる 4」が 20.6%で、「やや感じる 3」(44.7%)を合わせて 65.3%と、7 割弱の区民が肯定的に回答をしている。一方、「感じない 1」(3.8%)、「あまり感じない 2」(28.1%)を合わせた 31.9%が、否定的な回答をしている。

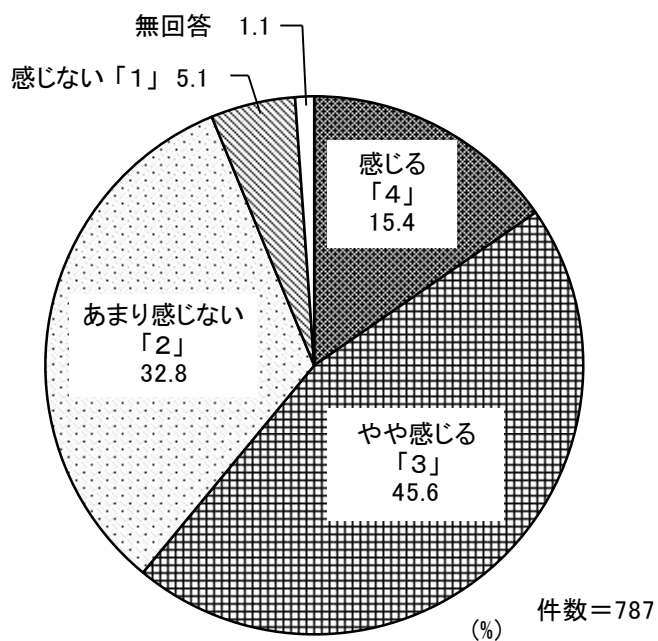
問8. あなたは、守山区は子育てしやすいまちだと感じていますか。(○は1つだけ)



3-3 高齢者が地域で安心して暮らせるまちについて

○ 守山区は高齢者が地域で安心して暮らせるまちだと感じているかについては、「感じる 4」が 15.4%で、「やや感じる 3」(45.6%)を合わせて 61.0%と、6割以上の区民が肯定的に回答をしている。一方、「感じない 1」(5.1%)、「あまり感じない 2」(32.8%)を合わせた 37.9%が、否定的な回答をしている。

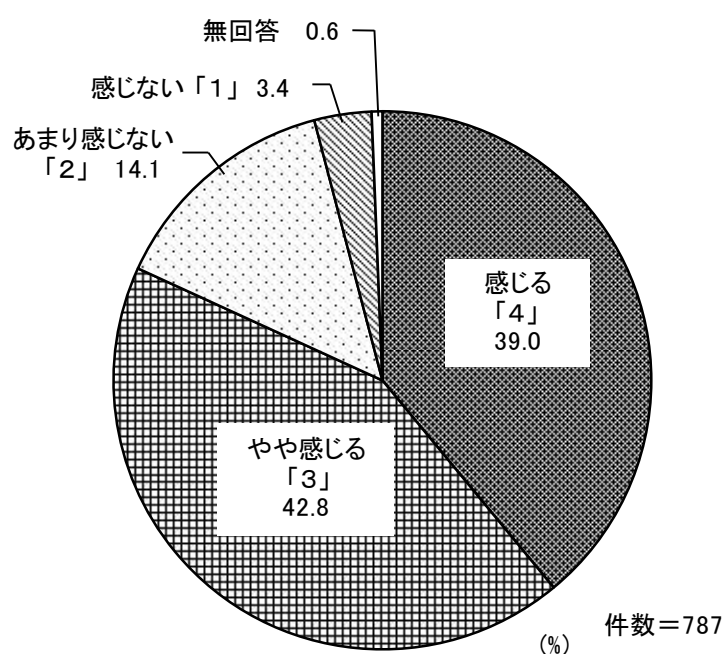
問9. あなたは、守山区は高齢者が地域で安心して暮らせるまちだと感じていますか。(○は1つだけ)



3-4 守山区への愛着感について

○ 守山区に愛着を感じているかについては、「感じる 4」が39.0%で、「やや感じる 3」(42.8%)を合わせて81.8%と、8割以上の区民が肯定的に回答をしている。一方、「感じない 1」(3.4%)、「あまり感じない 2」(14.1%)を合わせた17.5%が、否定的な回答をしている。

問10. あなたは、守山区に愛着を感じていますか。(○は1つだけ)

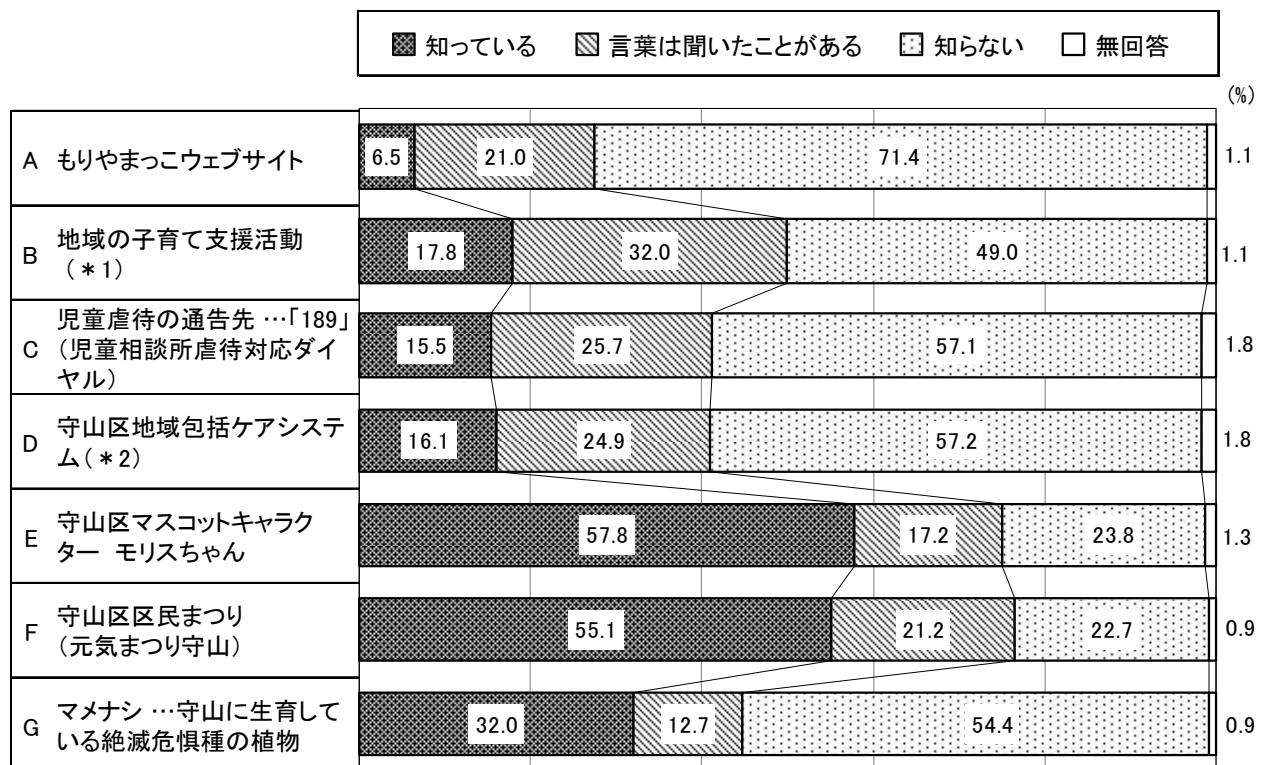


3-5 各ことがらについての認知状況

○ 下記のことがらについては、「知っている」の割合は、「守山区マスコットキャラクター モリスちゃん」(57.8%)と「守山区区民まつり(元気まつり守山)」(55.1%)については過半数と高く、「言葉は聞いたことがある」の割合も2割前後みられ、8割弱の区民が見聞きしている。「知っている」の割合は、次いで「マメナシ…守山に生育している絶滅危惧種の植物」(32.0%)となっている。一方、「もりやまっこウェブサイト」、「地域の子育て支援活動…子育てサロン、地域子育て拠点支援事業(交流の場づくり、情報提供など)」、「児童虐待の通告先…「189」(児童相談所虐待対応ダイヤル)」、「守山区地域包括ケアシステム…高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域社会づくり」については、それぞれ「知っている」の割合より「言葉は聞いたことがある」の割合の方が高くなっている。また、2つを合わせた見聞きしている割合は、「地域の子育て支援活動」(49.8%)、「マメナシ」(44.7%)、「児童虐待の通告先」(41.2%)、「守山区地域包括ケアシステム」(41.0%)、「もりやまっこウェブサイト」(27.5%)の順となっている。

問11. あなたは、次のことがらについて、それぞれのくらいご存知ですか。

項目ごとに該当する番号に○をつけてください。



注：(*1)：(子育てサロン、地域子育て拠点支援事業(交流の場づくり、情報提供など))

(*2)：(高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域社会づくり)

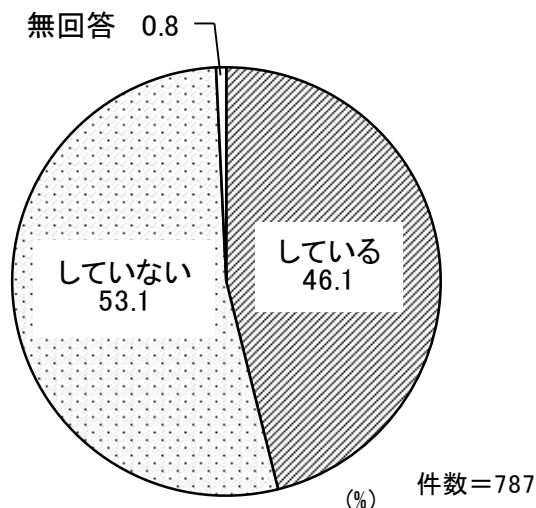
4. 地域とのつながりについて

4-1 地域の方々との交流について

(1) 地域の方々と交流の有無

○ 地域の方々との交流については、「している」は46.1%と半数弱で、「していない」は53.1%と半数強となっている。

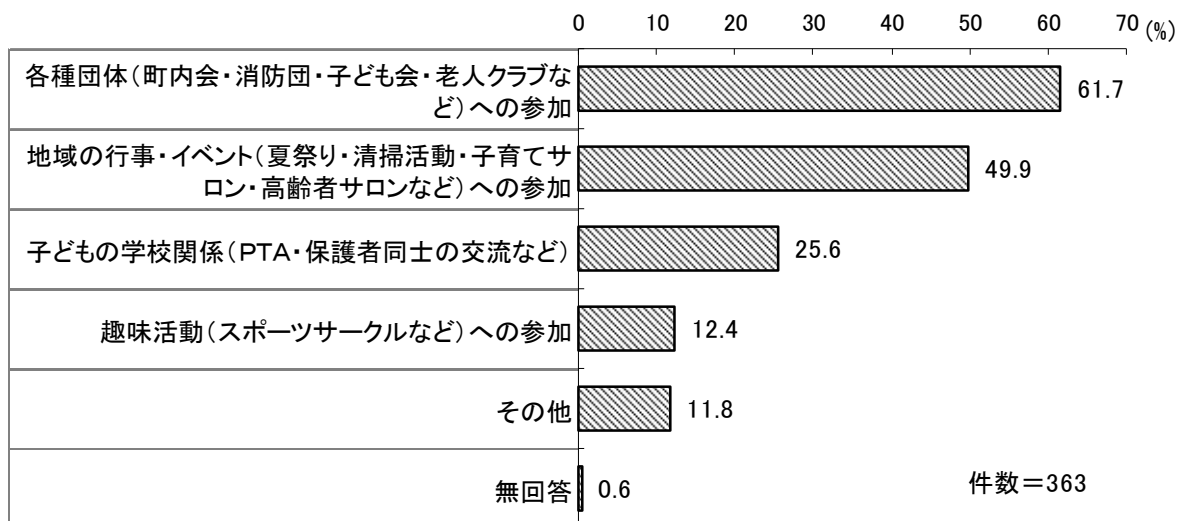
問 12. (1) あなたは地域の方々と交流をしていますか。(○は1つだけ)



(2) 行っている交流

○ 地域の方々と交流をしている方(363人)では、「各種団体への参加」(61.7%)が6割以上と最も多く、次いで「地域の行事・イベントへの参加」(49.9%)であり、「子どもの学校関係」(25.6%)、「趣味活動への参加」(12.4%)と続いている。

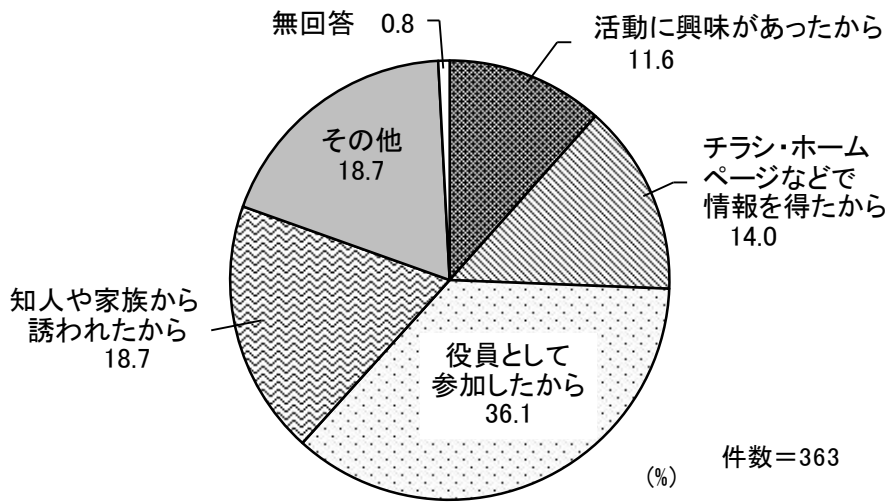
(2) 「している」と答えた方にお聞きます。どのような交流をしていますか。(○はいくつでも)



(3) 交流のきっかけ

○ 地域の方々と交流をしている方（363 人）のきっかけとしては、「役員として参加したから」の割合が 36.1%と最も高く、「知人や家族から誘われたから」（18.7%）、「チラシ・ホームページなどで情報を得たから」（14.0%）、「活動に興味があったから」（11.6%）と続いている。

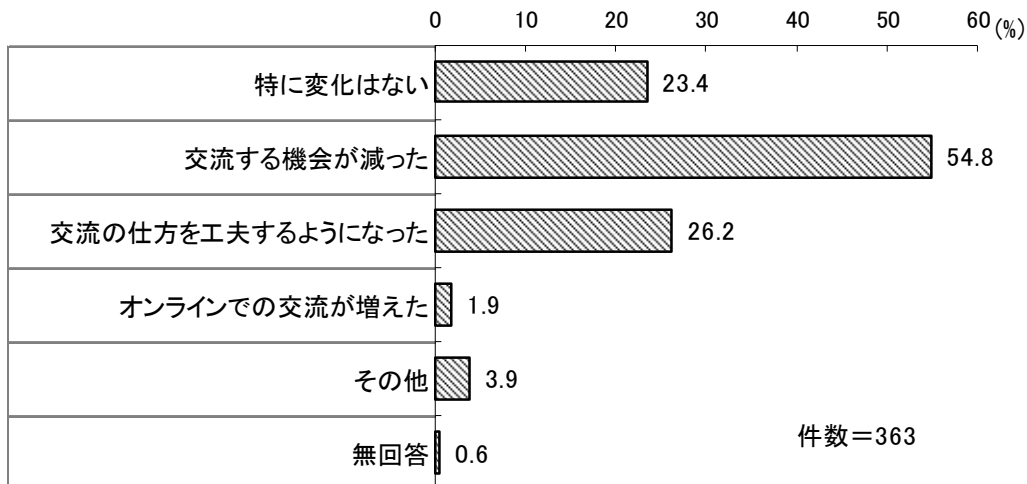
(3) 「している」と答えた方にお聞きます。交流のきっかけは何ですか。（○は1つだけ）



(4) 新型コロナウイルスの影響による変化

○ 地域の方々と交流をしている方（363 人）の新型コロナウイルスの影響による変化としては、「交流する機会が減った」が 54.8%と最も多く、次いで「交流の仕方を工夫するようになった」（26.2%）となっている。一方、「特に変化はない」は 23.4%であった。

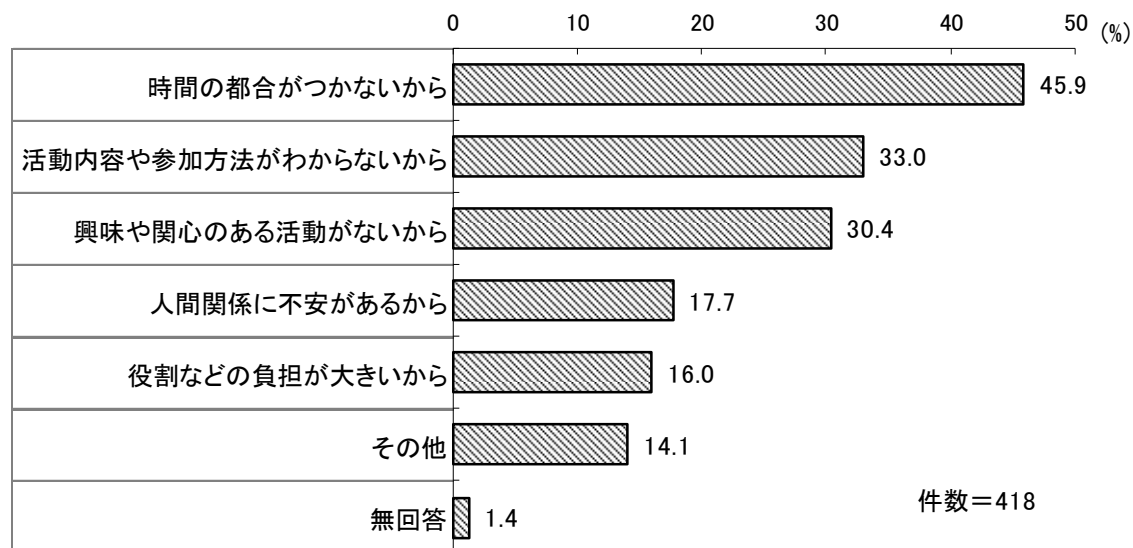
(4) 「している」と答えた方にお聞きます。
新型コロナウイルスの影響により、交流にどのような変化がありましたか。（○はいくつでも）



(5) 交流していない理由

○ 地域の方々と交流をしていない方（418 人）の理由としては、「時間の都合がつかないから」が 45.9%と最も高く、次いで「活動内容や参加方法がわからないから」（33.0%）と「興味や関心のある活動がないから」（30.4%）が 3 割以上となっている。

(5) 「していない」と答えた方にお聞きします。交流していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

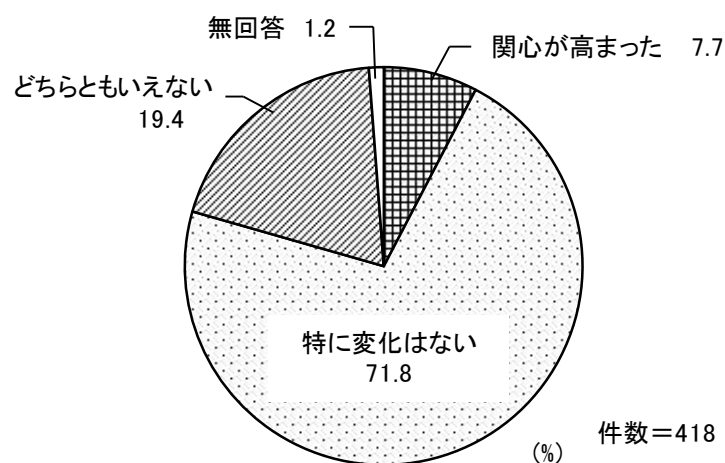


(6) 新型コロナウイルスの影響による交流に対する意識変化

○ 地域の方々と交流をしていない方（418 人）では、新型コロナウイルスの影響による交流に対する意識は、「特に変化はない」は 71.8%と 7 割以上を占めている。一方、「関心が高まった」は 7.7%と少なく、「どちらともいえない」（19.4%）が 2 割みられる。

(6) 「していない」と答えた方にお聞きします。

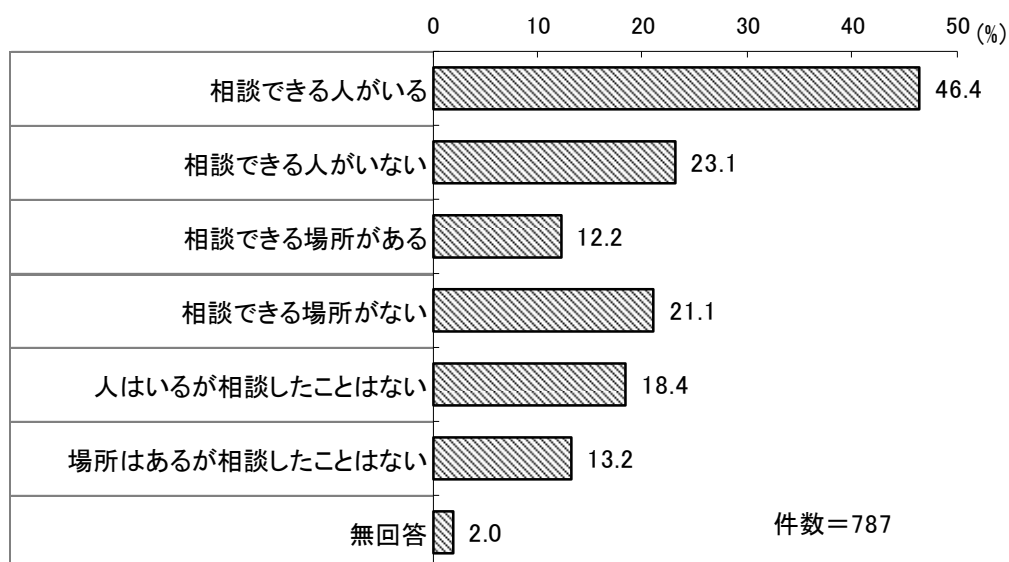
新型コロナウイルスの影響により、交流に対する意識の変化はありましたか。（○は 1 つだけ）



4－2 地域で相談できるかについて

○ 困った時に相談できるところが地域にあるかについては、「相談できる人がいる」の割合は46.4%であり、「人はいるが相談したことはない」(18.4%)を合わせ、64.8%が相談できる人はいると回答しており、「相談できる人がいない」(23.1%)の割合に比べかなり高くなっている。また、「相談できる場所がある」の割合は12.2%であり、「場所はあるが相談したことはない」(13.2%)を合わせ相談できる場所はあると回答をした方は25.4%であり、「相談できる場所がない」は21.1%となっている。

問13. あなたは、困った時に相談できるところが地域にありますか。(○は2つまで)

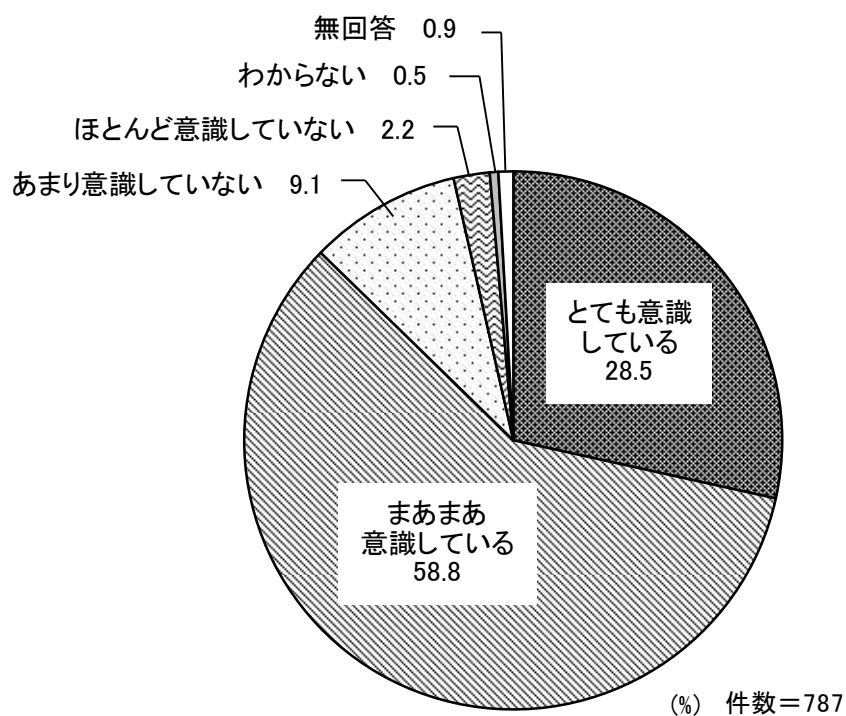


5. 健康に対する意識について

5-1 日頃の健康に対する意識

○ 日頃から健康について意識をしているかについては、「まあまあ意識している」の割合が 58.8%と最も高く、「とても意識している」は 28.5%であり、意識している割合は合わせて 87.3%と 9 割近くを占めている。一方、「あまり意識していない」(9.1%)、「ほとんど意識していない」(2.2%)は、合わせて 11.3%となっている。

問 14. あなたは、日頃から健康について意識をしていますか。(○は1つだけ)

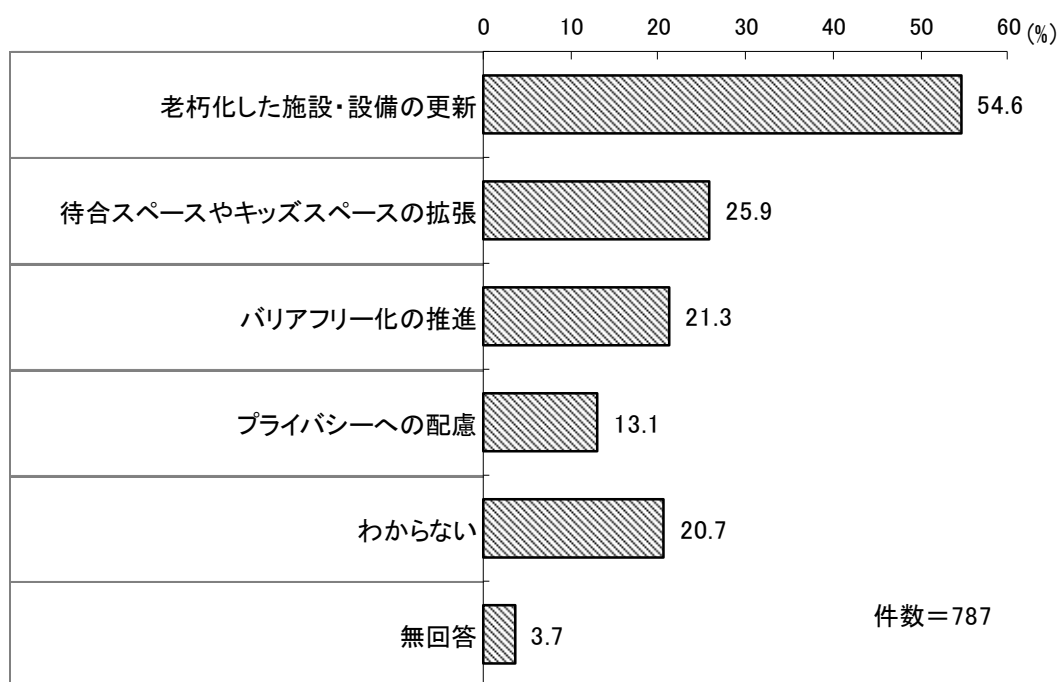


6. 守山区役所の環境について

6-1 守山区役所に必要な改善

○ 今後守山区役所に必要な改善としては、「老朽化した施設・設備の更新」の割合は 54.6%と最も高く、区民の過半数があげている。以下、「待合スペースやキッズスペースの拡張」(25.9%)、「バリアフリー化の推進」(21.3%)、「プライバシーへの配慮」(13.1%)と続いている。また、「わからない」が 20.7%みられた。

問 15. 守山区役所は、今後どのような改善が必要だと感じますか。(○はいくつでも)

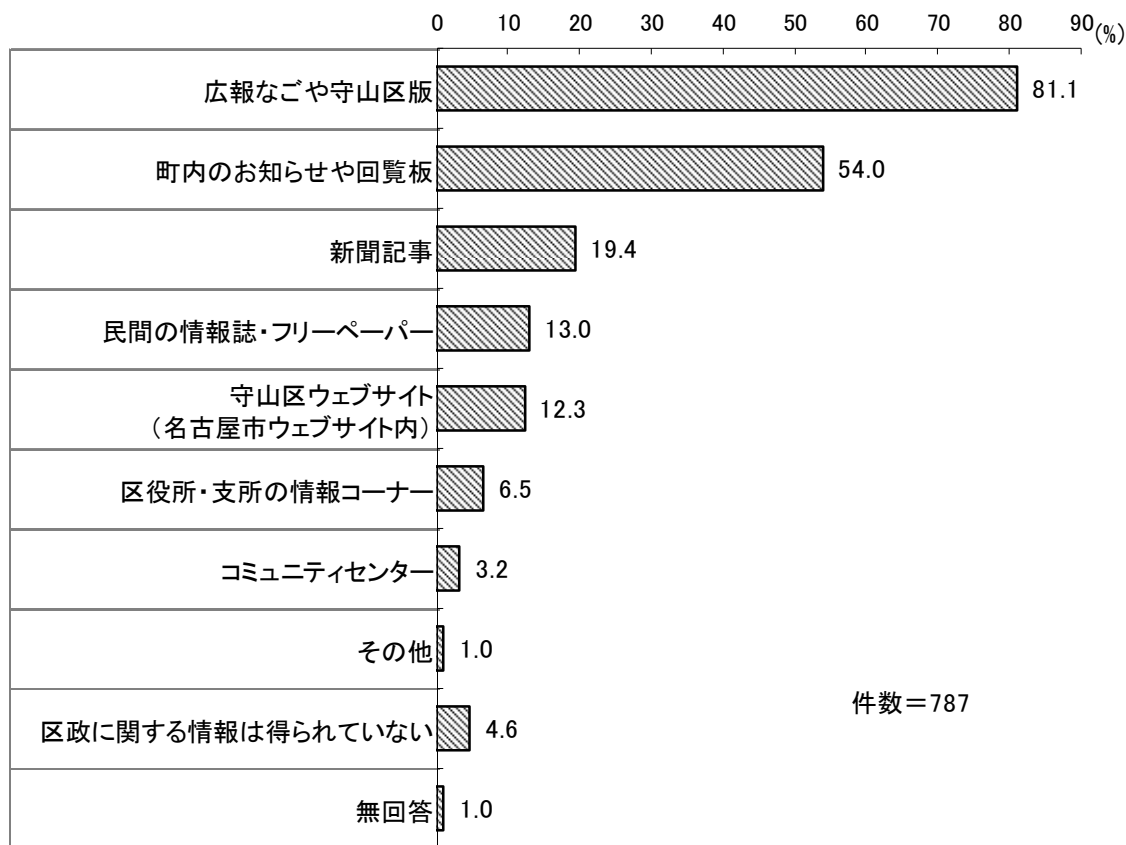


7. 広報について

7-1 情報入手経路

○ 区政に関する情報の入手先としては、「広報なごや守山区版」の割合が81.1%と最も高く、次いで「町内のお知らせや回覧板」(54.0%)であり、これらが重要な情報伝達ツールとなっている。以下、「新聞記事」(19.4%)、「民間の情報誌・フリーペーパー」(13.0%)、「守山区ウェブサイト(名古屋市ウェブサイト内)」(12.3%)、「区役所・支所の情報コーナー」(6.5%)、「コミュニティセンター」(3.2%)の順となっている。一方、「区政に関する情報は得られていない」は4.6%となっている。

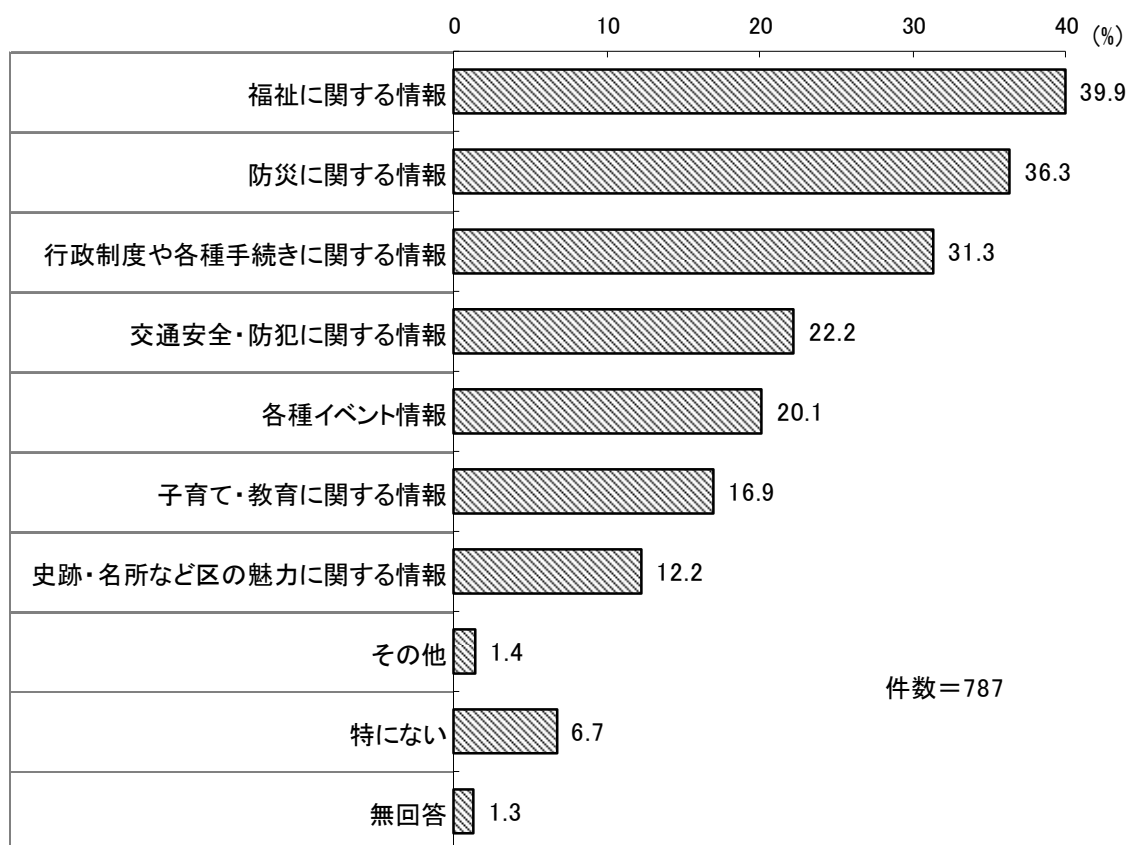
問16. あなたは、区政に関する情報をどのような手段でお知りになりますか。(○はいくつでも)



7-2 区政に関して知りたい情報

- 区政に関して知りたい情報としては「福祉に関する情報」の割合が 39.9%と最も高く、以下、「防災に関する情報」(36.3%)、「行政制度や各種手続きに関する情報」(31.3%) が3割台で続き、「交通安全・防犯に関する情報」(22.2%)、「各種イベント情報」(20.1%)、「子育て・教育に関する情報」(16.9%)、「史跡・名所など区の魅力に関する情報」(12.2%) と、区民は多様な情報を欲している。一方、「特にない」は 6.7%となっている。

問 17. 区政に関して、あなたが知りたい情報は何ですか。(○は2つまで)



8. 第2期守山区将来ビジョンに対するご意見について

8-1 第2期守山区将来ビジョン（構成案）に対する主な意見

問18. 「守山区将来ビジョン」は令和5年度をもって計画期間終了となることから、その成果や課題もふまえ、新たに「第2期守山区将来ビジョン」を策定します。

この度、「第2期守山区将来ビジョン（構成案）」を下記のとおり作成しましたので、内容をご覧いただき、ご意見・ご提案がありましたらご記入ください。

○【目指すまちの姿Ⅰ】安心・安全で快適に暮らせるまち

〔施策1〕地域防災力を高め、災害に強いまちづくりを進めます

- ・大きな災害に向けて避難先の設備、シミュレーション、避難所の安全管理をしっかりとお願いしたい。
- ・地域の防災力を高める上で、指導を行う、説明を行う、マニュアル配布などを検討してほしい。
この地区の避難場所はどこになるのかなど、普段から皆が目にして理解しておけるような仕組みを考えてほしい。
- ・古い家が多く、災害時の倒壊など二次被害が心配なので、改修の支援を続けてほしい。
- ・避難場所施設が少ない。満員で入れない場合などの対策として、民間企業などの建物に受け入れ有無をわかりやすくしてほしい。避難所を増やす対策をしっかりとしてほしい。

〔施策2〕犯罪・交通事故・火災のない地域づくりを進めます

- ・最近犯罪が増えているので、安心・安全な町作りを考えてほしい。
- ・子どもだけでなく年配の方への交通指導教室等を実践してほしい。
守山区は年配の方が多く、自転車に乗られている方も多いが、横断歩道を渡らない、前後確認せず方向転換をするなどマナーの悪い方もある。
- ・小中学校、高校などの学生を中心に、自転車や電動モビリティの交通マナー、乗り方を教える機会をより多く作り、自身の安全や加害者にならない為の知識やモラルを学んでもらうことで、Ⅰ～Ⅱ～Ⅲの3つの項目に対して貢献できると思う。

〔施策3〕快適に暮らし続けられる環境づくりを進めます

- ・近くに川があるが、ゴミのポイ捨てがひどいと思う。
- ・ゴミ問題について、カラスによるゴミの散乱が最近目立つので何か対策があれば。
- ・閉店して空き家となった店が放置されており、治安が悪くなっているように見える。改善してほしい。
- ・犬、猫による迷惑防止対策の実施。動物を排除することが正しい教育にしないほしい。サクラ猫地域猫として見守る教育をしてほしい。
- ・近年、歩道で犬のフンを多く見かける。マナーに欠ける飼い主が多い為、注意喚起の看板、貼り紙など増やしてほしい。
- ・地域によって公共交通手段がなく不便。市バスの路線を再考してほしい。
バス路線のない区域は巡回バス等があると安心、便利になると思う。
- ・高齢者が免許を返納してからでも活動が出来るように、車がなくても生活しやすいまちづくりを。
- ・守山区内の交通網を整備してほしい。ゆとりーとラインは通勤時間満員状態、他にインフラなし。

車では区役所前や近くは常に混雑している。名古屋中心部へ行く時間、他の区と比べて不便。

○【目指すまちの姿Ⅱ】誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち

〔施策 1〕子育てを地域全体で支える体制づくりを進めます

- ・高齢者の将来も不安だが、子ども達の将来も不安と感じている。
子どもを安心して産み、育てて（費用的）いける制度作りが一番だと思う。
- ・子育て支援を更に充実して欲しい。不妊治療についても今より更に支援してほしい。
- ・雨天でも館内で遊べる、児童館又は施設場所を多くしてほしい。
- ・コロナ禍での妊娠、出産でマタニティー向けの講座や産後の講座も中止や人数制限が多く、思うようにいかない日々を過ごしてきた。
産院でも他のお母さん達と話す機会もない中、産後を支えてくれたのは子育てサロンだった。
同じ月齢の子を持つ大人と話せることはすごく息抜きできたし、学区も同じなので情報共有ができた。
月 1 回ではなく毎週あれば良いのと思う。

〔施策 2〕安心して子育てができるよう支援します

- ・子育てをする上で、他都市に比べてあまり参加できるイベントがない。
公園などで遊ぶことが少なくなっているのので、体を動かすイベントなどがあると、子どもも大人も高齢者も皆で健康になれるので良いのではないかな。

〔施策 3〕地域でとものつながり支えあう体制づくりを進めます

- ・介護の必要な高齢者やその家族を支える行政制度やその手続きをもっと分かりやすく、多くの人に伝えてほしい。子どもも高齢者もずっと住める守山区にしてほしい。
- ・高齢者が子育てに関わるような場を設けて、地域全体で高齢者と子どもを支えていける体制作りをする。

例えば、トワイライトにお年寄りが参加したり、体験を話す場所を作って、子どもとの接点を増やし、お年寄りはいきいきと、子どもはゆったり見守る大人との存在を感じられるように、昔のような暖かい環境づくりに力を入れる。

- ・高齢者が多くなっている社会なのに、高齢者への支援がわかりにくい。
施策案のどこかに高齢者支援がわかるような文言を含めた方が良いのでは。

〔施策 4〕互いに認め合い、自分らしく暮らせるよう支援します

- ・幼児、園児、小学生、中学生、高校生…20 代、30 代、40 代…高齢者、障害児や者ともう少し細かく支援できる、参加できる、考えることができるビジョンにしてほしい。
- ・色々な団体（民生、保護司、スポーツ、消防団…）と協力して進めていくまちづくりを考えては。
20 代～50 代は忙しいと思うが、守山区に興味をもってもらえるようなまちづくりを進めてほしい。
- ・子育てに手厚い話題が多いが、高齢世代ももっとサポートしてほしい。
高齢者は体の自由がきかなくなるのに、相続などの申請などで区役所などに行く用事が増える。
介護施設へ入所したくなったらどこに相談したら良いかわからないので、高齢者向けに相談窓口の一覧をパンフレットにしたり、もっと PR をしてほしい。

[施策 5] 健康でいきいきと暮らせる環境づくりを進めます

- ・高齢者が健康で生活できる取組をより多く考えてほしい。
平日だけでなく、休日や夜間も対応していただけるものがあると嬉しい。
- ・守山区は広いので、ブロックごとに高齢者が楽しめる行事があるとよいと思う。

○【目指すまちの姿Ⅲ】魅力と活力にあふれ、愛着を感じるまち

[施策 1] 自然や歴史を生かし、魅力あふれるまちづくりを進めます

- ・守山区には古くは“古墳”、様々な武将と関わりのある所があったり、戦争中の地域の様子など、歴史に沿ってふりかえると、興味深い所だと思う。
子どもから大人まで、自分が今住んでいる場所では昔、どんな事が起きたのか、広報やガイドブックのようにまとめてもらえると楽しいと思う。
- ・守山は緑が多くとても住みやすい所。自然との共存、安全な子ども達が住みやすい町と思ってくれるよう願っている。
- ・守山区に住みたくなるような情報をどんどん発信してほしい。区の魅力発信ができていくと、ますます住んでいる私達も区に愛着が湧くので良いと思う。
- ・自然や、観光資源を有しているのに守山区は発信が上手く出来ていないため、今後、観光協会、宿泊施設誘致など展開したら良いと思う。

[施策 2] にぎわいと活力のある地域づくりを進めます

- ・地域と密接した区政運営を行ってほしい。学区自治会への活動費予算を増やして、若者が参加しやすい行事を増やしてほしい。
- ・防災訓練や学区毎の運動会など、区民が参加するイベントや企画を通して普段横のつながりが少ない区民同士がつながることができる機会が増えるように思う。
- ・地域、ご近所の交流が殆どと言ってよい程無くなっており、「隣の人は何する人ぞ」と言った感じ。
年1度の側溝清掃の折言葉を返すぐらい、日常は顔を見れば時候の挨拶程度……、組に新しく入って来た方の顔も判らない…私だけではないと思う。
- ・コロナも大騒ぎしなくなった今年、来年で何ができるかだと思う。
大きなアクションをしないと、つながりがなくなったままどんどん寂しい人間関係ばかりになってしまう気がする。

[施策 3] 文化・芸術・スポーツ活動に親しめる環境づくりを進めます

- ・県外からの居住者だが、志段味図書館は素晴らしい活動をしていると思う。
スタッフの方々も優しく親切。町の規模を考えると、もっと大きな図書館になれば良いと思う。
- ・図書館が古く感じる。リタイヤした人が散歩がてら行きたいと思える場所になると良いと思う。